

なごみ農地利用最適化推進運動

農委会名：和水町農業委員会

1 地域の概要

和水町は、熊本県の北西部にあり、福岡県との県境に位置する。南北約19km、東西約9km、面積98.75km²の中山間地帯である。

山間部では、みかん、ブドウ等の経営が行われ、平坦部では、主作物である水稻の外、スイカ、いちご、ナス等の施設園芸が盛んである。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 11人（うち、認定6人、女性2人）
- (2) 推進委員数 17人（うち、認定6人、女性0人）
- (3) 事務局体制 2人（専任2人）

3 掲げた目標

遊休農地の解消面積 12ha

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

バイオマス燃料の開発等に取り組まれている大手発電会社「電源開発株式会社（JPOWER）」が、令和4年度から実施している和水町の遊休農地等を活用した、エネルギー作物「エリアンサス」の試験栽培。電源開発株式会社の元九州支社長である町民の方と連携し、活用できそうな遊休農地の情報提供等を行っている。町内の遊休農地の解消に加え、脱炭素社会への貢献に繋がることが期待される。

5 取組みの成果

遊休農地等の情報提供を続け、徐々に規模を拡大され、3年目を迎えた今年度は、町内4地区、計約4.2haで栽培をされており、遊休農地の解消、有効活用に繋げることができた。地権者や地域住民等からの反響も良く、また、地理的条件や気候的な条件も良く、安定的な収穫量も見込めていることから、更なる規模拡大を目指されている。



【遊休農地解消】

6 課題と今後の方針等

今後は本格的な栽培も視野に入れ、20ha程度まで規模を拡大していくことを目標とされている。本格的な栽培に移行することで、遊休農地の更なる解消、有効活用等に繋がっていく。